

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	環境保全推進課
	施策	環境保全活動の推進		電話番号	087-839-2393
	基本事業	環境保全意識の啓発		事業実施主体	市
	事務事業	環境保全推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	国が主催する6月の環境月間に併せて環境展を実施し、環境問題を考える契機を提供するとともに、環境活動団体との協働による環境学習の実施により、環境活動団体の支援やより一層の市民の環境意識の向上を図る。また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた環境白書の発行を行う。		
3年度概要	環境展を開催するとともに、環境学習の実施や環境活動団体の支援を行うことにより、市民に対し環境意識の向上を図り、環境問題全般に関する啓発を行う。 本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた環境白書の発行を行う。 第31回「星空の街・あおぞらの街」全国大会に前回開催市として出席する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	環境活動団体や関係機関と協力して環境学習講座を実施するとともに、講座の開催等について市の広報誌やホームページに掲載し、参加者の増加に努めることにより、市民の環境意識の底上げを図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
環境学習講座実施回数	回	73	68	57	76	77

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
環境学習講座参加者数	人	目標値	2,180	2,220	2,260	2,300	2,325
		実績値	2,210	1,707	1,949		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 環境保全推進課分室の閉所により環境学習講座実施回数は減少したが、こども未来館や瓦町FLAGなどの新たな施設における講座においても多数の参加を得ており、市民の環境意識の向上が図られている。	(目標達成度)		(達成度) 86.2%				
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	37,356	40,773	49,068	42,139
（事業費）	[円]	9,092	5,873	14,283	6,598
（職員人件費）	[円]	28,264	34,900	34,785	35,541

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
環境問題に対する市民意識の高まりは依然高く、本市の環境の現状について市民に知らせる環境白書の発行や、環境展の開催、環境学習の実施は、市民にとって環境問題を考えるきっかけ作りとなっており有意義であり、継続が必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
環境問題に対する市民意識の高まりに対応するとともに、より一層の意識啓発を行う必要があることから、継続する必要がある。			

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	南部クリーンセンター
	施策	環境保全活動の推進		電話番号	087-890-2190
	基本事業	環境保全意識の啓発		事業実施主体	市
	事務事業	南部クリーンセンター環境学習事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	南部クリーンセンターの施設を活用して、ごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供する。「エコハタル」の展示ギャラリーでは、環境パネル展や、環境に関する図書の見学、またパソコンによる環境クイズなどを利用して環境問題を考える機会を提供し、地球規模での温暖化対策の必要性を啓発するとともに、学習室では紙すきや工作などを実施して、楽しみながら、リサイクルを体験してもらい、参加者の環境意識の向上に寄与する。				
3年度概要	利用者数（見学者・学習室利用者等） 年3,250人 体験学習事業 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年17回 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷・配付 環境啓発DVD視聴				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	ごみ問題を始めとする環境学習の場を提供して、広く市民の環境意識の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
エコハタル自主企画講座回数（見学会等を含む。）	回	12	12	15	17	20

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
エコハタル自主企画講座参加者数（見学会等を含む。）	人	目標値	400	400	450	475	500
		実績値	450	297	402		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 自主企画講座参加者数を中期目標地と同じ450人としていたが、親子施設見学会が低調であったことから、目標を達成できなかった。	(目標達成度)						(達成度) 89.3%
			31点				
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	8,228	7,919	7,905	7,932
（事業費）	[円]	377	332	343	370
（職員人件費）	[円]	7,851	7,587	7,562	7,562

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

工作会は講座1回あたりの参加者数を15組から16組に増やし、夏休みは盛況であったが、冬休みは低調であった。また、親子見学会も開催回数を6回から8回に増やしたが、低調であった。実施内容のマナー化などの課題もあり、新たな魅力ある事業の創出や魅力ある広報の方法などの検討が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

NPO法人、管理運営事業者とも協働する中で、魅力ある工場見学会や、新たな自主企画事業の開催などとおして、環境保全意識の啓発を推進する。